

倉吉市中学校PTA連合会
会長 若林 朋子 様

倉吉市教育委員会
教育長 小椋 博幸

倉吉市の中学校教育に関する質問、要望書（回答）

1 生徒の学びの質の確保

(1)

生徒への特性に応じたきめ細かい指導や、生徒指導・不登校・特別支援教育への適切な対応が可能になるように、教職員、学習支援員、加配措置等、各学校の状況に合わせて増員も含む適切な人的配置をお願いします。特に市が配置する学校主事、図書館司書、元気はつらつ教員補助、心の教室相談員の各学校への確実な配置をお願いします。

【回答】

各学校の状況に合わせた教職員配置や、加配措置、支援員の配置が行えるよう、鳥取県教育委員会へも強く要望してまいります。市が配置する職員については、各学校配置となるよう努めてまいります。

(2)

GIGAスクール構想の推進に向けて、中部他町のようにICT教育に関する専門的な職員の全校配置(せめて全中学校区)、推進に向けて教職員の研修会を開催するなど、ICT教育推進の取り組みをお願いします。

【回答】

倉吉市教育委員会の情報教育支援員と鳥取県教育委員会の教育DX推進員を活用し、GIGAスクール構想の推進を図ってまいります。また、情報教育主任者会を開催し、主任を通じて各学校の教職員へICT教育の推進に向けた取組を拡げてまいります。

(3)

生徒がクロムブックの持ち帰りによる学習など在宅(リモート)学習を行う場合、充電用コンセントの持ち帰りもできるようにお願いします。

【回答】

充電用コンセント持ち帰りは、長期休暇の時など必要に応じて行っています。平日の持ち帰りも特に禁止するものではなく学校の判断で行っています。

(4)

生徒の生活、学びの質が平等に確保できるよう、各学校の実情に応じ必要な備品・消耗品の確保ができるよう、各学校から予算要望を取りまとめるとともに、必要な予算については要望通りに予算要求していただくようお願いします。

【回答】

学校からの予算要望は毎年、聞き取りを行っており、学校規模、実情を考慮し学校間の

均衡を考慮しながら学校毎に予算を配分しておりますが、全ての要望に対し予算措置がなされないのが現状であります。引き続き財政状況を考慮しながら可能な限り予算要求をしてまいります。

2 安心して学べる環境づくり

(1)

現在、各学校に一任されている統一的な手法のない「給食用バット」の洗浄について、給食センターへのバット洗浄機の導入、バット洗浄の業者委託等を行い、生徒・教職員の安心安全の確保が図られるよう予算要求をお願いします。

【回答】

給食用バット洗浄機の導入は、機器の設置場所に余裕が無く、新たに設置するためには施設の増設が必要となります。また、機器の設置費用が高額となり、現段階では難しい状況です。各学校において給食用バットは配膳のみにする、バットにランチマットを敷くなど、衛生面に配慮して児童生徒と教職員の安心安全の確保に努めます。

(2)

緊急時避難場所でもある体育館・柔剣道場や、生徒玄関等の施設の老朽化に伴う改修をお願いします。また、校舎施設のバリアフリー化についても順次進めていただきたいと思います。

【回答】

体育館、柔剣道場を含め学校施設が災害時での避難場所として指定されております。過去にも体育館、柔剣道場は避難所の機能強化として施設のバリアフリー化、トイレ洋式化を行ってまいりました。今後、学校施設は長寿命化に取り組むこととしており計画的に老朽化対策を行ってまいります。合わせて避難所としての環境整備にも取り組んでまいります。

(3)

近年、LGBTQは身近な人権課題となっておりますが、中学校における制服の在り方等について啓発を行うとともに、ブレザーへの移行をはじめ市内共通の制服導入など市全体の取り組みとして進めていただきたいと思います。また、各学校で新たな取り組みを検討する場合の支援・協力や、学校統合（再編）することでの保護者負担の軽減等についてご協力をお願いします。

【回答】

LGBTQや保護者の負担軽減に配慮した制服の在り方について、全国的に取組が広がっています。倉吉市においても、今年度中に保護者代表や教職員で構成した制服検討委員会を立ち上げ、倉吉市全体で制服について検討してまいります。

(4)

各学校には、生徒の使用頻度が高いにも関わらず、まだエアコンが配置されていない特別教室（美術室、技術室、被服室）等があります。生徒の健康や安全面を考慮したとき、エアコンがないことにより熱中症や重大な事故（工具や刃物を扱う際の暑さによる集中力低下等）につながる可能性があります。未設置の場所へ速やかに設置していただきますよう予算要求をお願いします。

【回答】

令和4年度末の中学校全体のエアコン設置率は、普通教室100%、特別教室67%であります。現在、エアコン整備については、古いエアコンの更新、新たな特別教室等の整備は行っておりますが、普通教室より利用頻度の低い特別教室すべてにエアコンを整備する計画は現在、考えてはおりません。

現在のところ特別教室での授業は冷房が必要となる6月～9月間の教室の使用を控える授業の組み立てによる調整を学校へ依頼し対応していただいているところですが、近年の気温上昇を鑑み、学校と調整・協議していく必要があると考えます。

(5)

各学校により実態は異なりますが、校庭の整備、校地内の保護者用駐車場の舗装、樹木の剪定、除草等、各校の状況に応じた学校環境の整備について、予算要求をお願いします。また、積雪時の対応として、安全かつ効率的に除雪を行い、学校運営に支障をきたさないよう除雪に係る予算計上をお願いします。

【回答】

校地内の樹木の剪定や除草等につきましては、保護者や地域の皆様にご協力いただき誠にありがとうございます。樹木については、近年、多発する自然災害による倒木等の問題もあり剪定、伐採について計画的に整備して参ります。なお、校庭の整備、駐車場整備については、多額の費用を要することから、財源の確保に努め市の財政状況を勘案しながら計画的な整備を行いたいと考えます。

通学路等の除雪につきましては、毎年ご協力いただき誠にありがとうございます。校地内の除雪については、十分な除雪費用ではありませんが、豪雪時など必要に応じて外部委託することとしており、引き続き予算要求します。

また、今年度は除雪機を保有していないなど要望のあった学校に1台ずつ小型除雪機を配備することにしていますが、各地区コミュニティーセンターに市建設課所管の除雪機が配備されていますので、自治公民館協議会ははじめ地域運営組織等と連携して引き続きのご協力をお願いします。なお、豪雪が予想される場合、予め休業や登校時間を遅らすなどの措置も必要であると考えます。

(6)

生徒の安全確保や犯罪の未然防止のための防犯カメラの増設、生徒が最新の情報（緊急地震情報、洪水、土砂崩れ、不審者情報、野生動物の目撃情報など）を得ることができる電光掲示板（生徒玄関等に設置）の各校への設置、夜間の通行等に際して人感センサーによる簡易照明等の設置など、素早く避難をしたり、安全に下校したりするための備えを各学校の実態に応じてお願いします。

【回答】

現在、全ての中学校には、玄関等1台以上の防犯カメラを設置しております。防犯カメラの設置は犯罪抑制への効果もあり、カメラの増設は学校と協議しながら取り組んでまいりたいと考えます。

また、電光掲示板を全ての学校に整備することは考えておりませんが、生徒への最新の情報発信については、現在、全ての生徒に提供しているタブレットを活用した情報発信方法について検討して参りたいと考えます。夜間の簡易照明の設置につきましては、学校の実態に

応じて検討します。

3 その他

(1)

近年、バスの使用料が高騰しており PTA 会計を圧迫している状況があります。部活動の練習試合、大会参加に係るバス代の予算増額をお願いします。

【回答】

中学校体育連盟主催の大会については、バス借上料を予算計上しております。今年度は中国大会や県大会出場が増加し、バス借上料が不足したため補正予算要求を行いました。今後も大会参加に係るバス代について補助に努めます。なお、練習試合については保護者に負担いただきますようお願いいたします。

(2)

部活動の地域移行に向けた取組を、保護者にも分かりやすく明示していただきたい。部活動は子どもの成長を促す重要な取組でもあります。教員の負担を軽減しながら、部活動指導者や地域指導者による移行をお願いします。

【回答】

部活動の地域移行に向けて指導者の確保に努めているところですが、現状では十分な指導者確保に至っておりません。平日は現状どおりとして休日は合同開催にするなど、部活動の方法も含めて検討してまいります。進捗状況について教職員や保護者の皆様にも情報提供するよう努めます。

(3)

部活動指導員において練習試合、大会参加等の際に発生する旅費について支援ができるよう予算要求をお願いします。

【回答】

部活動指導員の旅費支給には鳥取県人材バンク登録者であることが条件であり、倉吉市の部活動指導員は該当しないため支給されておりません。倉吉市として、旅費支給できるよう予算要求を行います。また、県教育委員会へは、人材バンク登録者以外にも旅費支給できるよう要望してまいります。

(4)

鳥取県内では体験的学習活動等休業日を導入している自治体があり、全国にはラーケーションを導入した自治体もあります。シフト勤務のため土日祝日に休みが取れないなど保護者や家族の働き方も多様化しており、大人と子どものふれ合いの機会の増加、有休取得の促進など制度の趣旨をふまえ、前向きに導入を検討していただきたいと思っております。

【回答】

家庭や地域での活動にふれ合うことで、児童生徒の心身の健全な発達が期待されます。体験的学習活動等休業日の設定について、商工会や保護者の理解を図るとともに、児童生徒が様々な体験ができる機会の設定や、保護者不在の児童への対応等について検討しながら進めてまいります。